

人権だより

No.322 (2025.3)

ねん ふ かえ 1年を振り返る

じんけんきょういくそうだんか せいけ え み り
人権教育相談課 清家 英美里

こんげつ こんねんど お
今月で今年度も終わります。みなさんにとってどんな一年だったでしょうか。私自身振り返ると、
こんねんど じんけん かんが とし こんねんどとうしょ がつ じんけん たんとう
今年度ほど人権について考えた年はありませんでした。今年度当初、3月に人権だよりの担当となっ
ていることを知り、ふとした時に「このことは人権だよりに書けるのではないか」と考えていることが多
かったです。人権について考えるきっかけは「人権だよりに書くこと」であったのですが、日々の生活の
なか じんけん かんけい きづ
中で人権に関係していることはたくさんあるのだと気付くことになりました。そんな中で、先生方に人権
だよりの執筆を依頼し、誰より早く原稿を読ませていただき、考えに触れることは、今までにない気付
きが多かったように思います。考えるきっかけは何でも良いと思います。真剣に考えることで自分
自身と向き合い、周りと同じ向き合い、自分自身を振り返ることができます。

こんねんど せかい へいわ ねが なつ うわじまみなみ なかにわ はな いちめん さ さまざま
今年度も世界の平和を願って夏の宇和島南の中庭にはひまわりの花が一面に咲き、様々なボラ
ンティア活動を行い、思いやりの連鎖が起きました。みなさんは今年もたくさんの経験をしたことでしよ
う。他者の多様な考えを受け入れ、そこから学ぶ姿勢を常に忘れず、稲穂のように頭を垂れる謙虚
な自分の姿の時はありましたか？

ひび せいかつ なか べんり ゆた もと わる しょせき よ
日々の生活の中で「便利さ」「豊かさ」を求めることは悪いことではありません。スマホで書籍を読
む機会が多い私ですが、今年度は図書館に足を運び、本を借りることが多くなりました。図書館を
りよう ひと すず ききょうみ も としょかん ほん み せいと よ あと
利用している人からお勧めを聞き、興味を持つ。図書館の本を見て、たくさんの生徒に読まれた跡とと
もに、傷むことなく大切に扱われていることを感じる。不便の中にも豊かさを感じ、見えない誰かのこと
を かんが じんけん かんが とき ききょうみ も そうぞう はじ おも
考える。人権について考える時、興味を持ち、想像することから始まるように思います。

じぶんじしん かんじょう ちかかん かんが かつ けいこう し じぶんじしん かんじょう たいど
自分自身の感情、価値観、考え方の傾向を知ることが、自分自身の感情や態度をコントロールし
たり、価値観や偏見に気付いたりすることもできます。周りの人や相手の心や状況に思いを巡らせる
ために、まずは自分のことを知しましょう。また、学び、知ること、正しい知識を身につけ、考え行動でき
るようになることも必要です。スポーツを通して実感しても良いかもしれません。相手や仲間のプレーを
みと なかま おな もくひょう む ききょうりよく いっしゅん ほんだん こうどう かんが
認め、仲間をフォローし、同じ目標に向かって協力する。一瞬で判断し、行動するためにたくさん考
え、学びを深めていく・・・自ら選んだ道を進み始める時、「差別を解消する社会を創るかけがえのな
ひとり」となるために、学びの時間を大切にしたいと思います。

わたし せいかつ なか かなら けんり ぎむ まわ けんり しゅちよう あいて
私たちの生活の中には必ず「権利と義務」がついて回ります。権利を主張するならば、相手の
けんり そんちよう じぶん ぎむ は ひつよう しゃかい ちつじよ たも
権利も尊重する、自分の義務を果たす必要があります。そうすることで、社会の秩序が保たれます。

学校生活も同じように生徒の皆さんや先生、誰もが気持ちよく過ごせて、宇和島南がいいなと思える場所にしたいですね。そういう場所になれると私が思う場面には、宇和島南の多くの生徒がすれ違う時に挨拶を交わす姿があります。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」言うのも言われるのも耳にするのも気持ちの良いものです。挨拶は一言ではありますが、相手を思い、声を掛ける、心通う行動です。挨拶ができるのは、相手のことを見ている、気に留めている証拠だと思います。自分という存在を認められ、こんなに安心できることはありません。

「協力は強力」という言葉を見た時の衝撃。こんな素敵な言葉を大切にしたいと心から思いました。「正の連鎖」を宇和島南で起こすために自分ができること、みんなでできること、学んだことから考え、実行するのは自分たち自身です。夏休みは人権委員の皆さんが積極的に活動に参加し、皆さんの体験をしています。たくさんの人に出会い、気持ちや考えに触れ、自分には何ができるのか、真剣に考えています。人権委員ではなくても、一緒に活動参加してみませんか。協力は強力です！そして、バトンを繋ごう！

【保護者の声】 文章を読んだPTA人権委員の方の感想です。

用事で学校へ行くと、生徒の皆さんは「こんにちは」と挨拶と会釈をしてくれます。挨拶は言い慣れてないとなかなか出てきませんが、皆さんが普段から相手を尊重し理解し合おうと思ってくれているのがとても伝わり、うれしく思っています。「協力は強力」すてきな言葉ですね。(2年生保護者)

【人権委員の声】

私自身この一年間で人権に関する様々なことを学び、たくさんの経験をしました。私は3年間人権委員を続け、いろいろなことをしてきましたが、先生方の話を聞き、改めて人権とは何かを考えたと思います。来年も人権委員になり、積極的に活動していこうと思いました。(3年生人権委員)

今年で2年目の人権委員。こうやって感じたことや考えたことを書くたびに、やはり自分も人権のことについて考えているなど感じます。しかし、それと同時に思うのは、世の中の人自分も含め、まだまだ勉強不足だということです。平気で差別をしたり、関係ないからと目を向けたりすることすらない。「無知」すなわち差別にもなりうるのではないかとも思うのです。そのためには、目を向けて、考えたり知ったりして、時には「協力」して、そうして人権が広がれば、それほどすてきなことはないと思うのです。

(3年生人権委員)

“人を思いやること”“誰かを助けること”どれも漠然としていて、どうすればいいのか分からないけれど、挨拶をしたり、ちょっと周りに意識を広げてみたりと、身近で“ほんのちょっと”したところからも取り組むことができるんだと改めて感じました。自分にそのような“ほんのちょっと”したことができているのか？謙虚になって自分自身を見つめ直したいとも思いました。僕たち人権委員はそんな“ほんのちょっと”したこととしてひまわりの活動を行い、“平和”というもっと大きく漠然とした思いに向かって活動しました。いつか大きな「正の連鎖」が生み出せるように活動していきたいと思いました。(5年生人権委員)